

ナカニシ ヒロキ
中西 裕樹

Hiroki NAKANISHI

講演

研修

学術調査

コメンテーター

所属・職名

グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科 准教授

研究分野

中国の諸言語の記述研究・歴史研究

研究活動

私の研究テーマは言語の記述・歴史・変化です。中国の広東省で使われているショオ語というミャオ・ヤオ系の言語を調査しながら、その歴史や周囲の中国語方言との接触による変化について考えています。いま世界には三千から一万の言語が存在していますが、グローバル化等によりその多くが22世紀を迎える前に滅びてしまうのではないかと危惧されています。ショオ語はそのような言語のひとつで現在の話者数は約1,500人です。人類文化の多様性を体現しているこのような少数言語の記述は21世紀前半の言語学で最も重要な仕事と言えるでしょう。

主要な業績

(著作・論文・研究
発表)

『畚語海豊方言基本詞彙集』(京都大学人文科学研究所)2003年3月
 『現代畚語鼻韻尾の来歴』、『民族語文』第4期(商務印書館)、pp.10-20、2007年8月
 『試論苗瑶語“半”類語素的音変』、『語言学論叢』45輯(商務印書館)、pp.336-351、2012年8月
 『海豊鸞埠客家話的畚漢口音調值不同的現象』、『開篇』31号(好文出版)、pp.149-157、2012年10月。
 『ショオ語の所有者表現 -中国南部における地域特徴の残存-』、『高田時雄教授退職記念 東方学研究論集(日英文分冊)』(臨川書店)、pp.164-180、2014年6月

社会活動・その他

所属学会

日本中国語学会、日本言語学会

キーワード

記述言語学、歴史言語学、言語接触、ショオ語、ミャオ・ヤオ諸語、中国語方言、客家語